

平成30年度 次世代につなぐ景観資源再生事業

1 事業実施箇所

(視点場名等) りょうあいがわぼし りょうあいたなだ
両合川橋と両合棚田

(視点場紹介) 「両合川橋」は、宇佐市院内町の滝貞・小平集落の間に流れる滝貞川に架けられた石橋です。大正期に造られた小規模な石造単アーチ橋で、周辺の景観を含め保存状態が良好なことから、1998年に国の登録有形文化財に登録されています。

また、その両側の急斜面には約120枚の棚田で構成された「両合棚田」があり、1999年には日本の棚田百選に選定されています。

「両合川橋」、「両合棚田」という名前の由来は、2本の川の合流した場所や両側の集落が出会う場所であることから名付けられたといわれています。

田植えや稲刈りの時期には、観光や写真撮影、スケッチなど多くの人が訪れています。

2 実施時期

平成 30 年 12 月

3 写真



実施前



実施後



実施後



イベントの様子

4 PRコメント

両合川橋と両合棚田がある滝貞・小平集落は、狭くて急峻な地形に石積みで田を築いているため、農作業を続けるのは大変苦勞が多いですが、地元と行政が協同で棚田と石橋のある風景を守っています。

12月には眺望景観を阻害する支障木の伐採を行い、両合川橋と両合棚田が一望できるようになりました。棚田が広がる農村風景に石橋が溶け込んだ景色は、どこか懐かしさを感じる安らぎの空間を演出しています。日本の原風景を思い出させる癒しのスポットになっておりますので、ぜひお越しください。